

2022年6月10日

ウルグアイ政府の新たな措置：マスク着用規定の変更

●6月9日、ウルグアイ厚生省は新型コロナウイルス、インフルエンザ及びその他の感染症患者が増加していることに伴い、マスクの着用規定を以下のとおり変更しました。

<マスク着用義務>

- 呼吸器の症状を有し、症状が続く中、診断が確定するまでに他人と接触する者。
- 厚生省の指示に従い、一般人または患者に対し直接定期的なケアを行う医療従事者。
- 医療施設に入館または滞在するすべての利用者、同行者及び医療従事者。
- 長期滞在型高齢者施設（ELEPEM）や障害者センター等で弱者のケアに従事する者。

<マスク着用を強く推奨>

- 都市部、郊外、県を跨ぐ移動及び国際間における公共交通機関の利用者。
- 避難所、拘置所等の施設に滞在する者。
- クラスターの発生が疑われる場所に居合わせた者（事態が収束するまでの一定期間。）。
- 5歳未満の子ども等、ワクチン未接種者の世話をする者。
- 人混みのある閉鎖空間。
- 食品加工者及び食品取扱者。

在留邦人の皆様におかれては、引き続き手洗い、うがい、マスクの適切な着用等の感染対策を心がけるようお願いいたします。